

学校関係者評価報告書

学校法人 福田学園
大阪工業技術専門学校
自己点検・評価委員会
学校関係者評価委員会

学校法人福田学園 大阪工業技術専門学校(自己点検・評価委員会)が実施した令和5年度自己点検・評価表に基づき、下記日時に開催した『学校関係者評価委員会』に於いて以下の意見と評価がありました事を報告致します。今後は、当該評価委員から頂きました意見等を真摯に受け止め、より良い学校運営と教育に努めて参ります。

●開催日時:令和6年8月30日(金) 14:00～16:00

●場 所 :福田学園 1号館(大会議室)

●学校関係者評価委員 出席者

【評価委員】	所 属	役職等
松山義広	奈良県立奈良南高等学校	副校長
延安浩二	株式会社金山工務店	取締役
河野正道	住友精密工業株式会社	総務人事部人事グループ アシスタントマネジャー
村野智子	卒業生(平成5年卒)	校友会長
【事務局】	所 属	役職等
伊東和幸	大阪工業技術専門学校	副 校 長
宗林 功	大阪工業技術専門学校	教務課長
吉田裕彦	大阪工業技術専門学校	企画開発局長 (建築設計学科長/ロボット・機械学科長)
大西崇之	大阪工業技術専門学校	ICT推進委員 (インテリアデザイン学科長)
吉松秀典	大阪工業技術専門学校	広報担当課長
善才雅夫	大阪工業技術専門学校	進路支援室長
辻本 功	大阪工業技術専門学校	事務課長
宗田宜士	大阪工業技術専門学校	事務課主任

◆評価委員の意見と評価

A:十分に満足できる(3点) B:満足できる(2点) C:やや不十分である(1点) D:不十分である(0点)

項 目	評価委員の主な意見等	総合評価 (平均値)
基準1:教育理念	中期構想を策定し、他校と一線を画した独自性を出した学校作りを目指していることは評価できる。	3.0
	独自のICT教育のほか、さらに歴史ある専門学校ならではの“独自性のある何か”ができないのか。	
	資格取得については将来的に本人の強みになり、取得者の拡大は対外的に学校の評価を上げることに	
	繋がるはずなので、学生の間取得できるものを積極的に取り組めないのか。	
	教育理念に基づいた上で、環境の変化に対応した策を講じて、特色を持った学校にしてゆこうとしている、	
	そして実践していることが理解できた。	
	競合他校と一線を画したICT教育体制を確立し、安定した学生数の確保に取り組んで頂きたい。	

	<p>独自のICT教育体制の構築、その教授力の向上を企画開発室と学科長が連携をして進めている。</p> <p>電子黒板のコンテンツ開発を推進し、教育効果を高めている。産官学連携を図りながら、真の学力・仕事力を追求していることは評価に値する。</p>	
基準2: 学校運営	<p>今の時代に合わせ各情報がシステム化され管理されており、業務が効率化されていることは評価できる。</p> <p>事業計画の進捗が毎月確認され、臨機応変に修正及び調整がなされている。</p> <p>人事考課規定は一部整備されていないようだが、実態として適性に運用されていることが伺える。</p> <p>全体的には学校運営は計画的・組織的になされており、問題ないものと思料される。</p> <p>学籍異動の履歴管理など、業務効率化とあわせて情報システム化を進めて頂きたい。</p> <p>学生による授業評価をオンラインで実施し、データの集約・共有をスムーズに行っている。定期考査もオンライン実施を可能にし、幅広い教育活動を展開している。業務効率化を図る情報システム化がなされており、その運用も適切に行われていることは評価に値する。</p>	2.8
基準3: 教育活動	<p>ICT化を積極的に進められていること、専門学校として各資格取得の為の体制、リカレント層への学生の受け入れ体制も整えられていることは評価できる。</p> <p>高卒18才人口の減少が今後も続くことから、リカレント層の取り込みに力を入れるべきではないか。</p> <p>校友会としても、生涯学習において協力できることがあるのではないかと考えている。</p> <p>他校との差別化を図る、独自性を発揮する意味でも、先進技術を積極的に導入し、これから社会に飛び出す学生の柔軟性や先進性を養う努力を行っているように思われる。</p> <p>また、人を育てるという観点での教育視点は、単なる知識の詰め込みを超えた高い次元での教育であり、学校の高い教育理念を感じる。</p> <p>ウェブアンケートシステムを有効に活用し、評価体制を作り上げて頂きたい。</p> <p>学生による授業評価(年間2回実施)の結果から、学生の目標到達度や教員の教授力を把握し、次期の授業から改善につなげている。業界レベルの専門性は全教員が持つことよりも、専門家の非常勤講師に担ってもらい、専任教員には教育的技術を解き明かす立場とし棲み分けを行っていることは評価に値する。</p>	2.8
基準4: 教育成果	<p>就職内定率、進路決定率が高く、目標が達成されていることは評価できる。</p> <p>卒業生の就職相談が増えているとのことですが、積極的に対応して頂きたい。</p> <p>卒業後の就職についての対応は長所ともいえ、学校のアピールにもなると思われる。</p> <p>退学率に関しては社会的、経済的な要因があり、学校としては難しい面があると思われる。</p> <p>就職内定率は目標を達成されており、継続して頂きたい。</p> <p>各種資格の必要性などを明確に学生へ示し、まずは受験率を向上させて頂きたい。</p> <p>業界からのニーズが強い建築・管工事施工管理技士の資格取得に向けて、推進教員の任命や授業内に盛り込み等の対策を実施していることは評価に値する。</p>	2.8
基準5: 学生支援	<p>国の支援の他、学校独自の支援制度があり、また突発的な要因に対しても柔軟に対応を行っていることは評価できる。</p> <p>就職内定率の数値や資格取得合格率等高い成果を出されていると思われるが、単なる率の向上だけに捕らわれず、そこに至る考え方や過程を重視しての結果であると思料する。</p> <p>大学の就職支援とは一線を画する支援を行っていると感じる。他専門学校と比較しても同様と思われる。</p> <p>学生を育てる中で学生を知り、一方では就職先の企業を知り、学生と企業をマッチングさせることについて多大な時間と努力が必要であると思われるが、それを地道に実践されているところが貴校の特色の一つと言える。</p> <p>学生を支援する体制が整えられていることは大変素晴らしい。</p> <p>引き続き学生の経済的側面を支援する体制を有効に機能させて頂きたい。</p> <p>「高等教育の修学支援新制度」により、学生の経済的支援を行っている。今年度は、能登半島地震に対応し、授業料半額減免を行っている。また、ドリームサポートプラン制度を整え、学習支援体制を整えていることは評価に値する。</p>	3.0
	<p>独自のICT教育の為のインフラを進め、活用されていることは評価できる。</p>	

基準6:教育環境	<p>学生のICT活用は学校によりバラツキがあるようですが、本校の独自性を打ち出し進めていくことが学校のアピールになると思われる。</p> <p>学びの場であっても、仕事の場であっても、それを取り巻く環境整備は非常に重要だと思われる。</p> <p>効率的かつ効果的な環境においては、皆の学びのモチベーションもアップするものであると考える。</p> <p>費用が掛かることもあり、直接的な効果が見て取れるかとの観点からつつい後回しになるところを、先んじて実践していることについては羨ましくもあり、評価できるものと思料する。</p> <p>引き続き、中期計画に基づき、教育環境を整備して頂きたい。</p> <p>Wi-Fi設備・電子黒板の設置が完了している。施設・設備の整備は、福田学園事業計画・中期計画(5ヵ年計画)に基づき、確実に実施していることは評価に値する。</p>	3.0
基準7:学生募集	<p>学校によって、書類審査のみの募集があるようですが、貴校においては面接を必ず行い、人間性の部分を見ているところが評価できる。また、オープンキャンパスを有効に活用しているところも評価できる。</p> <p>学校の認知度を上げるために、SNSへ繋げる方法として、卒業生のネットワークを活用できるのではないかとと思われる。(立派な学校案内パンフレットでなく、チラシ程度のもを広く大きく活用する等。)</p> <p>学生の募集環境が厳しい中でも定員充足ありきではなく、学生の受け入れ姿勢には一貫したものがあり、学生本位の募集を継続的に実践しているところが世間からも評価されているところだと思われる。</p> <p>遠隔地の生徒向けに「オープンキャンパス」をオンラインで中継したり、24時間視聴できることは評価できる。</p> <p>「オンデマンドWEBオープンキャンパス」の実施はSNSが主流の時代において、学生の獲得に有効な手段である。様々な手法を使い質の高い学生を獲得して頂きたい。</p> <p>24時間視聴可能な「オンデマンドWEBオープンキャンパス」やLINEでの質問・相談を実施している。</p> <p>選考にあたっては、面接官2名により職業意識を強く持っているか否かを中心に「受験生本人の資質」を第一に捉えた人物重視の選考を行うことができていることは評価に値する。</p>	3.0
基準8:財務	<p>学生数の減少により学費収入が減り大変だと思われるが、資産運用ができており安定的な運営が行われていることは評価できる。</p> <p>財務基盤は安定されているようで問題ないと思われる。</p> <p>ただ昨今の募集環境が厳しいなかで、毎年の収益確保には継続的な努力が必要であると思料する。</p> <p>長期の負債もないようなので、引き続き安定的な財務運営を行って頂きたい。</p> <p>健全な財務管理を行っている。借入金や長期の負債もなく、中長期的に財務基盤は安定している。</p> <p>情報公開においても収支計算書、貸借対照表大科目、監査報告書、事業報告書等をホームページ上で公開していることは評価に値する。</p>	3.0
基準9:法令遵守	<p>各法令や専門学校の設置基準を遵守し適正な学校運営がなされている。</p> <p>個人情報の取り扱いも対策を取られており、評価できる。</p> <p>学校の運営自体についての法令は遵守されていると思われるが、職員や学生個々人の隅々にまで浸透させることは非常に難しく、継続的に一層の努力が必要であると思料する。</p> <p>引き続き、法令遵守に努めて頂きたい。</p> <p>定期的・日常的に研修・ガイダンスを行い、法令・規則の遵守、個人情報保護の意識を高めている。</p> <p>更に職員研修の充実を図っていることは評価に値する。</p>	2.8
基準10:社会貢献	<p>大阪府下の行政機関や民間企業と連携できる体制があり、交流が行えていることは評価できる。</p> <p>貸教室を広く提供されているようだが、場所的に優位なところに位置していることから生涯学習の場としてもさらに広く活用して頂きたい。</p> <p>教育の場を超えて地域や社会に利益をもたらすことや社会問題への取り組みなど、非常に難しいことだと感じる。そんな中でも様々なことに取り組んでこられているので、これから一層充実する可能性を感じられる。</p> <p>引き続き、各種団体と連携・交流を図って頂きたい。</p> <p>学校資源を活用しての生涯学習支援や雇用促進、学校施設設備を開放しての地域社会との連携を計画して、社会貢献を図っていることは評価に値する。</p>	2.5
	外国人留学生の受け入れ拡大推進は評価できる。積極的に受け入れ、増員をすべきだと思われる。	

基準11:国際交流	外国人留学生の受入れ体制は、これまでよりかなり進展があると感じられる。しかし日本人高校生の	2.5
	入学者数が減少傾向にあることから、早期に体制を整えられてもっと積極的な対策を打たれる必要がある	
	と史料する。	
	外国人留学生の学内での体制は適切に行われているようで、大きなトラブルは起こっていないと説明を	
	受けた。引き続き、学校全体で外国人留学生をサポートして頂きたい。	
	専属担当職員を配属し、外国人留学生の経済的・心理的サポート体制を整えている。	
	個別の支援計画にも対応している。近年入学者数が増えているミャンマー国籍留学生や、今後入学の可能性してネパール国籍留学生への対応を行っていることは評価に値する。	

※尚、上記の意見と評価は、委員会当日(8/30)に出席されました評価委員の皆様方から、後日、別途改めて頂戴しました評価表を集約し、纏めて記載しております。